

2019年6月15日

四国アイランドリーグplus

事務局長 田室 和紀

北米遠征Can-Am League公式戦スタート！

アメリカ現地時間6月14日(金)19時5分(日本時間6月15日(土)8時5分)より、四国アイランドリーグplus選抜チーム SHIKOKU INDEPENDENTSのCan-Am League公式戦・第1戦が、サセックスカウンティー・マイナーズと行われました。

SHIKOKU INDEPENDENTSは先制を許すも、4回表、1死から妹尾(香)が四球で出塁し二盗を決めると、高井(高)が中前打を放ち1点を返します。4点を追う最終回に、四死球などで2死満塁のチャンスを作りましたが、あと1本が出ず、敗戦となりました。

投手陣はリリーフ陣が好投を見せ、山崎(高)、伊藤(徳)、林(愛)が、それぞれ1回を無失点に抑えました。

試合結果は以下のとおりです。

6月14日(金) スカイランズ・スタジアム 試合開始19:05 ※日本時間6月15日(土)8:05am												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
SHIKOKU INDEPENDENTS	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	8	0
サセックスカウンティー・マイナーズ	1	0	1	0	3	0	0	0	x	5	8	0

勝: Thompson S: Jose 負: 石井

SHIKOKU INDEPENDENTS

<投>石井ー山崎(6回裏先頭)ー伊藤(7回裏先頭)ー林(8回裏先頭)

<捕>川端ー横溝

サセックスカウンティー・マイナーズ

<投>ThompsonーGrendell(8回表先頭)ーMcCullough(9回表先頭)ーJose(9回表途中)

<捕>Dixon

本塁打: A.Ciriaco(SCM)

二塁打: Hair(SCM)、中村(IL)

【養父鐵監督のコメント】

初めてのアメリカでの試合ということで、沢山のことが経験できたと思います。先発の石井については、本人の意思もあり、予定よりも少し長いイニングを投げ、結果としてはホームランを打たれましたが、それも経験だと思います。今日一番良かったのは、リリーフ陣3人で、初めての登板ですが無失点に抑えてくれました。短い期間の中で、少しずつ成長していると思います。野手陣では、平間、岡村、中村が2安打を放ち、高井が思い切った振りでライト方向へのタイムリーを打っていたりと、次に繋がる敗戦だったと思います。明日は、今日よりも周りの状況が見えている中での試合だと思うので、相手は現在リーグ首位のチームで手強いですが、明日、明後日と勝利できるよう、前を向いていきたいと思います。

【石井選手のコメント】

まず初戦を投げてみて、一球一球の間に音楽が流れたりとか、球が滑ったり、マウンドが固いなど、アメリカ独特の空気感だったので、日本とは違う環境で投げて、自分のタイミングで投げることができませんでした。緊張はしませんでした。初回から力が入ってしまったので、そこが今日の反省点です。真っ直ぐとシンカーで三振が取れたのはすごく良かったと思いますが、スライダーでカウントを取り、決め球で三振が取れるというのが、一番良い流れだと思うので、今後頑張っていきたいと思います。

公式記録はCan-Am League HPをご参照ください。

<http://canam.wttbaseball.pointstreak.com/boxscore.html?gameid=485106>

試合の一球履歴は以下URLをご参照ください。

<https://baseball.omyutech.com/CupHomePageHistory.action?gameid=20192640997>

以上

四国アイランドリーグplus運営事務局 株式会社IBLJ

<http://www.iblj.co.jp>

香川県高松市大工町7-21 HERMITビル4階

TEL087-802-1580 FAX087-802-1581 担当:市川